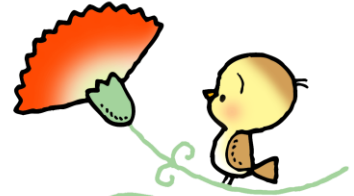


k 『子どもたちにとって 意味のある生活』とは、どんなことでしょうか？



子どもは、生活の中で最もよく学ぶものです。

お散歩に行ったら、虫たちの生態、草花の種類、食べられる草花、食べるためにお料理、交通ルール、歩くときのルール、施設を使うためのルール・・・

大人の指示の下では学ぶことができず、共に生活をしているから、みんなの背中を見て育っているから、伝授されているから学ぶことができていることを感じます。特に、『ルールのような約束事も決して自分を抑える物ではなく、ルールがあるおかげでみんなが自己発揮しながら楽しく生活できる。ルールは必要なものだ。』ということを生の中で体験しながら学んでいます。

実際、一時預かり保育を利用している子どもたちとのかかわりの中で、毎日生活している自分たちとしては当たり前のことなのに、「強い口調で言われていやだった」「○○ちゃんばかりで使っていていやだった」「片づけをしなくていやだった」と共に生活を一緒にすることで気づくことも、学びとして蓄積されています。「初めてのお友だちには教えてあげないとわからないことがたくさんあるんだ。」「教えてあげないと・・・」「でも、がまんできないこともある・・・」その気持ちをどうやって解決していくかを体験することも大きな学びとなるのです。いつものメンバーでは、わからないことです。そこで大切なのは、子どもの出すサインを正確に読み取ってあげることです。サインを正確に読み取ってあげれば、子どもは順調に伸びていくのです。サインを受け止めてくれたこと、ありのままの自分を受け入れてもらったことは、自分が大切にされていることに結び付きます。自分が大切にされていることを十分実感できれば意欲的になれるのです。

子どもは、学ぶ意欲と学ぶ力を持った有能な学び手です。その力を大切にしていきたいと思います。

保育室 すまいる の 保育とは、
『子どもたちにとって 意味のある生活』
を 共に作り出すことです。

《お知らせ》

○お天気が良い時には、園外にでかけます。歩きやすい靴の準備をお願いします。クロックスのサンダルのような履物は、滑ったり、脱げたりしやすいようです。なるべく運動靴などのご用意をお願いいたします。保育室に置き靴にしてくださいでも良いです。

○気温差が激しい日が続いています。洋服の着脱で体温調整ができるように、着脱しやすい服装でお願いいたします。半袖のご用意もお願いいたします。



基本保育時間は、7:30~18:30 です。

7:00~7:30、
18:30~19:00

の利用の場合は、お知らせください。

<旬のものとかかわる>

今年度は旬のものとかかわりを楽しみながらスタートしています。親子遠足では『いちご』『筍の皮むき』『ヨモギ・・・団子』『はこべ・・・おひたし』『八重桜・・・さくら茶』『つくし・・・お浸し』これから、ふき・たんぼぼ・からすのえんどう・さくらんぼ・もも・ぶどう・・・コロナ拡大防止のために自粛してきたことを復活しています。子どもたちと自然に目を向け、自分たちの目で確認し、鼻で香りを確認し、手で触感を確認し、舌で味を確認し旬ならではの味わいを感じていきたいと思っています。毎週金曜日のお茶会では、その季節に咲いているお花を子どもたちと確認しています。道を歩きながら、今咲いているお花を子どもたちと確認してみてください。